



会 長 函 師 義 孝  
 副 会 長 石 田 喜 克  
 幹 事 山 口 順 一  
 例 会 日 毎 週 木 曜 日 12:30~  
 例 会 場 ホ テ ル 泉 屋 2F  
 事 務 所 宮 崎 県 児 湯 郡 高 鍋 町 大 字 北 高 鍋 1368-4  
 ホ テ ル 泉 屋 内 TEL/FAX 0983-21-1636

第 1780 回 平成 25 年 3 月 28 日 プログラム

- |               |           |
|---------------|-----------|
| 1. 点 鐘        | 7. BOX披露  |
| 2. ロータリーソング   | 8. 各委員会報告 |
| 四つのテスト        | 9. 次週例会案内 |
| 3. ビジター・ゲスト紹介 | 10. 点 鐘   |
| 4. 会長の時間      | 11.       |
| 5. 幹事報告       |           |
| 6. 出席報告       |           |

2730 地区ガバナー 山下 皓三

中部分区ガバナー補佐 池田 豊繁

2730 地区テーマ

夢・誇り・挑戦 (素晴らしいロータリーの再生)

高鍋ロータリークラブテーマ

「絆」 原点を見つめて一思いやりの心で

3月の月間テーマ

ロータリーの雑誌月間

本日の例会案内

\*夜間例会&観桜会

会場= 四季亭レストラン「やまもも」

次週例会案内; 4月4日 (1781回)

\*月初めのセレモニー

\*雑誌月間卓話

\*米山ランチ

\*例会終了後理事会

第 1779 回 例会内容

■会長の時間

会長 函師義孝君

皆さんこんにちは。  
 一週間のご無沙汰  
 でございます。

本日は本年度2回目の  
 100%出席の日という  
 ことにご協力下さいました。

ホーム出席 100%には  
 なれませんでした。皆さん大変お忙しい中、気持ちを  
 頂き、出席して頂きました。出席委員会の方々に感謝申  
 上げます。有難うございました。お疲れ様でした。

先日、島子勝芳君の卒寿を祝う会をさせていただきました。  
 創設会員である茂木晃君にも挨拶して頂き、記念  
 品の贈呈をしました。平山君の乾杯の唱和で宴が始まり、  
 先輩会員である岩下盛朗君、河野修君、関正夫君、柴垣  
 復生君らからご高齢とは思えないほどユーモアあふれる  
 祝辞が述べられ、楽しい宴に花を添えて頂きました。

尾崎敏弘君のユーモラスな挨拶でその場を占めて頂き  
 ましたが、会場は笑いを誘い、大変盛り上りました。

島子会員より“90歳までロータリーを楽しんで下さい”  
 とお礼と元気の言葉を頂きました。

本日は、次年度へ向けて意欲をもって行動が始まって  
 いる石田会長エレクトのPETS報告です。



皆さん楽しんで聞いて下さい。

今日もロータリーを楽しんで下さい。

■幹事報告

幹事 山口順一君

<文書案内>

\*4月のロータリーレート

1ドル=94円

\*米沢上杉ロータリークラブ

創立50周年記念式典案内

日時 2013年5月18土

式典 13:30~16:15

祝賀会 16:30~18:30

会場 グランドホクヨウ 登録料 10,000円

\*穎娃ロータリークラブ・枕崎ロータリークラブ創立40

周年記念式典・祝賀会のご案内

日時 2013年5月11日(土) 17:00~

会場 枕崎観光ホテル 岩戸



■出席報告

出席委員 石井秀隣君

出席状況

会 員 数	50名
出席会員数	45名
ホーム出席率	90.00%
前々回修正出席率	81.63%



## ■BOX披露 親睦活動委員 池部文仁君

<ニコニコ・財団・米山BOX>

島子勝芳君 3月18日卒寿の祝  
ありがとうございました。

平山英俊君 今年も私の一番忙  
しい時期を乗り切りました。  
仕事があることに感謝！健康  
に感謝！



藤本範行君 石井委員長はじめ出席の皆様ご苦勞様です。  
今回も残念でしたが、次回もう一回チャレンジして下  
さい。皆さんガンバリましょう！

## ■PETS報告 会長エレクト 石田喜克君

会長エレクトセミナーに参加して

Presidents-Elect Training Seminar=PETS (略称)



まずは、略称の意味を理解することからでした。地区  
内クラブ会長エレクトに対し地区、RIの諸活動に協力し、  
クラブ運営に指導力を発揮するよう指導と訓練をするセ  
ミナーで、毎年なるべく3月中に開くよう要請されてい  
る。また、多地区合同PETSも認められる。ガバナーエレ  
クトが責任を持ち、その指示の下に立案・実施する。

プログラムに取り上げるべき論題も指定され、少なく  
とも1日半行うことが義務づけられた。次期ガバナーか  
ら特に免除されない限り次期クラブ会長はこのセミナー  
に必ず出席しなければならない。と情報集に記してあり  
ました。地区協議会への参加義務もあります。

初日3月9日の開会早々に、ガバナーエレクトの大迫  
三郎君(宮崎南RC)から、次年度RIテーマと地区目標  
について発表がありました。

まずは1月14日に国際協議会に参加された際、第1回  
本会議でロン・バートンRI会長エレクトから

2013-2014 RI テーマは、日本語訳解釈

『ロータリーを实践し、みんなに豊かな人生を』

『ENAGAGE RORTARY CHANGE LIVES』

であると、伝えられたことを説明されました。

ロン・バートンRI会長エレクトは、1979年にロータ  
リーに入会され34年間在籍されています。そして、ジュ  
タ夫人もロータリアンとのことでした。

2007年から田中作次RI会長らとともに『未来の夢計  
画』の策定に従事されてきた人物です。バートン氏は、  
アメリカ・オクラホマ州のノーマンRCに所属されていま  
す。RI理事など要職を歴任されている素晴らしい行動力

のある人物です。率先垂範型のリーダーかなあと想像さ  
れました。

詳しいことは、ロータリーの友3月号の28ページから  
37ページに詳しく掲載されておりますので熟読をお願  
い致します。

大迫ガバナーエレクトは、今『ロータリーは、改革の  
時である』とスピーチの中で言われたことが印象的でし  
た。会長年度に1つ、何か変わった事に取り組んでほし  
い！とも言われました。ふと、思ったのが～未来の夢計  
画の实践・実行かなあ～と考えました。

セミナーが進む中で、複数の部門長・委員長(2013-2014)  
が登壇されて次年度構想・計画を示しながら指導・教育  
を受けました。

まずは、会員増強を第一に進められるのかなあ～と感  
じました。やはり、職業奉仕部門かなあ～とも考えまし  
た。『職業を通じて、社会に良いことをしよう！』行動  
を起こしましょう！この言葉の意味を私自身が理解で  
きてなかったことを反省し、行動を起こすことを決意い  
たしました。

会員増強、職業奉仕に関しても委員会・クラブの問題  
ではなく、私たち全員の問題なのです。自分に与えられ  
たものを地域社会の人々と分ちあう責務があると理解  
できました

奉仕プロジェクト部門について、少しお話をさせて頂  
きます。ご存知かと思いますが、この部門は、職業奉仕・  
社会奉仕・国際奉仕・新世代委員会・(ロータアクト・  
インターアクト・ライラ・青少年交換小委員会)で形成  
されている部門です。新年度の当クラブの委員長が河野  
洋一君です。入会間もない彼をこのポジションにお願  
いした理由があります。彼は奉仕の精神を入会以前から  
いろいろな場面で発揮していたので、今回ロータリアン  
として最高のパフォーマンスをして頂きたく抜擢させて  
頂きました。4委員会の委員長のご協力と財団部門と交  
流をして、資金をゲットして頂き、かつ、連携をして未  
来の夢計画等を実行して頂きたいと思えます。まず、行  
動を起こしましょう！

職業奉仕委員会の委員長に福本幸良君に就任して頂き  
ました。お願いした時の、ご本人のお言葉をご披露いた  
します。自分が一番勉強・実践をしなければいけないと  
思っていたポジションです。わかりました。の最高のお  
返事でした。

職業を一つの奉仕の機会ととらえるところにロータリ  
ーの価値観がある。職業・事業の成功は、他人にいか  
に奉仕できたかで決まってくる。事業は儲けなくてはなら  
ない。しかし、儲けることの欲望のみが先走って、相手  
に利益と幸福を与え続ける事が出来なければ事業は成り  
立たないし、継続不可能である。個人レベルでは、四つ  
のテストを实践し、顧客、従業員に職業上の新設の規  
準を高め、信頼関係を樹立することが重要だと再確認し  
ました。『実践活動』をしましょう！

次に、ロータリー財団の未来の夢計画についてですが、  
2013-2014年度より導入されますが、高鍋RCも1月末

に申請手続きは、完了させて頂きました。申請事業の中身については、函師会長、山口幹事、武末会長ノミニー、尾崎ガバナー補佐エレクト、黒木財団委員長とご相談をした上で提出させて頂きました。採用・不採用は、4月以降に案内があるとのことでした。

ロータリー財団は、五大奉仕のプロジェクトの活動を地区とクラブと財団が協力して行う大事な組織であり活動です。ロータリーが人道的奉仕活動の国際的つながりの中で行う効果的な組織だと思います。財団募金を今まで以上に積極的に参加をお願い申し上げます。

1日半の研修を受けて、何か行動を起こさなければいけないと肝に銘じてはおりますが、何も決まっていない状態です。是非、パスト会長の皆様をはじめ、チャーターメンバーの皆様、新年度の委員長の皆様、そして、全会員の皆様の忌憚のないご意見をお聞かせ頂きながら、7月4日の大迫三郎ガバナーの公式訪問を迎えたいと思っております。

本年度6月のプログラムは、公式訪問の準備で大幅な変更をさせて頂いております。今月中か4月初めには、各委員会のメンバー確定及び計画立案を推進しなくてはなりません。いつもの年度より2か月位は、前倒しの行動をお願い申し上げます。まずは、私が早めの行動を起こし、自分自身の意識改革とロータリーをこの1年間、今まであまりやってなかった『勉強』を実践いたしますことを宣言させて頂きます。

最後になりましたが、本年度は、『温故知新』の考えを基本に、高鍋RCの40周年に向けての礎となるべく歩を進めていく所存です。会員の皆様方へ、ご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。会長エレクト研修の報告とさせて頂きます。



2013-2014 年度中部分区ガバナー補佐  
尾崎敏弘君

.....

**お知らせ**

◇高鍋ロータリークラブのホームページ  
<http://www.takanabe-rotary.jp>

**ロータリーの目的 (旧「ロータリーの綱領」)**

(「ロータリーの綱領」の日本語訳は2012年に改訂され「ロータリーの目的」となりました。

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
  - 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする；
  - 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を实践すること；
  - 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。
- 付記：「ロータリーの目的」の4つの項目は等しく重要な意味を持ち、また同時に行動を起こさなければならぬものであるということで、RI 理事会の意見が一致した。

**奉仕部門**

ロータリーの目的に基づく奉仕部門は、ロータリーの精神的な礎でありクラブ活動がよりどころとする基盤です。

- **クラブ奉仕** は、親睦活動とクラブの機能を充実させることを主眼とします。
- **職業奉仕** は、ロータリアンが自らの職業を通じて人々に奉仕し、高い道徳水準を实践することを奨励します。
- **社会奉仕** は、地域社会の人々の生活の質を向上させるためにクラブが行うプロジェクトや活動です。
- **国際奉仕** は、世界中におけるロータリーの人道的な活動を広げ世界理解と平和を推進する活動を含んでいます。
- **新世代奉仕** は、指導力養成活動、奉仕プロジェクト、交換プログラムを通じて、青少年と若者による好ましい変化をもたらすものです。

**四つのテスト**

「四つのテスト」は100カ国語以上に翻訳されています。言行はこれに照らしてから

1. 1. 真実かどうか
2. 2. みんなに公平か
3. 3. 好意と友情を深めるか
4. 4. みんなのためになるかどうか